

平成24年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	高齢者犯罪被害防止事業	担当部局	生活安全局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	生活安全企画課	生活安全企画課長 河合 潔				
会計区分	一般会計	施策名	1 市民生活の安全と平穩の確保					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特殊詐欺や利殖勧誘事犯の捜査の過程で入手した犯行に利用されていたと認められる名簿を活用し、これら名簿登載者に対し、登載事実を告げた上で注意喚起を行うなどにより、先制的に被害阻止又は被害の拡大防止を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	警察庁において、都道府県警察が特殊詐欺や利殖勧誘事犯の捜査の過程で入手した犯行に利用されていたと認められる名簿の写しを集約して委託業者にリスト(データ)化させ、当該名簿登載者を居住都道府県別に分類したものを都道府県警察に還元する。 都道府県警察本部は、これにより作成されたリストに基づき、各都道府県警察の実状に応じ、コールセンターからの架電、レター、巡回連絡、その他適宜の方法による啓発活動に活用する。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	16	16	
		補正予算	-	-	-	0		
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	16	16	
	執行額	-	-	-	16			
執行率(%)	-	-	-	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	リストに基づく注意喚起実施件数 リストに基づき注意喚起した結果、顕在化した被害(者)数 特殊詐欺等の認知件数の増減	成果実績		-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	履行期間内に、警察が提供する紙資料の名簿から必要事項(住所、氏名、電話番号等)を抽出し、登載者62万9千人分のエクセル形式のリストを作成する。	活動実績(当初見込み)		-	-	-	-	
				(-)	(-)	(-)		
単位当たりコスト	25.725円/件	算出根拠	契約額16,181,025円 / 契約件数62万9千件					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	雑役務費	16	16					
	計	16	16					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成23年における振り込み詐欺を始めとする特殊詐欺の実質的被害額は200億円を超えており、共通の被害者層である高齢者に対する被害防止対策の確立が急務となっている。 全国警察で入手した名簿の集約・分析等は国(警察庁)でしか実施できない。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札を図ることにより、競争性は確保されている。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	全国警察が個々に有している名簿を警察庁において集約の上データ化し、名簿登載者の居住地毎に分類して都道府県警察に還元することで、これを受けた都道府県警察は、ターゲットを絞った効果的な広報啓発活動が可能となる。 また、警察以外で本名簿を集約することはできず、類似する事業は有り得ない。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 実際に執行されている事業の内容が、過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等を踏まえたものになっているか 事業の必要性、効果等を厳格に検証した上で、最低限のコストで事業を実施しており、水準は妥当なものである。		
	2 執行面において既に明らかになった課題はないか。また、その課題に迅速かつ適切に対応しているか 特段の問題は認められない。		
	3 事業の成果目標及び活動指標が立てられているか 事業の内容に照らし、適切な成果目標及び活動指標が設定されている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。		
	2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。		
	3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	特になし		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新24-1

警察庁
16百万円

〔外部委託〕



<外部委託>

【随意契約(不落)】

A.株式会社KSKデータ

〔データ入力作業〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.株式会社KSKデータ			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	データ集約作業	16			
計		16	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社KSKデータ	データ集約作業	16	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

高齢者被害防止対策リスト作成業務概要

